

国産針葉樹活用プロジェクト21連続オンライン実践セミナー
2021年11月17日水曜日18:00~20:00 15分前から入場できます。

参加費無料
申込先・h.maruya@me.com

「建具職人」と作るインテリアが今だから新鮮



美しい森林は私たちに多くの恩恵を与えてくれます。その森林の木と語り、手を入れる。愛情と感謝。コンクリートに覆われたマンションも、古くなり価値がなくなったと思われる建物も、暮らす人々の声に耳を傾け、杉、桧、唐松などの国産の針葉樹がもたらす効果や素材の温もりを感じる健やかな住環境を提案します。顔の見える職人の技と共に、古来より木と共に暮らしてきた日本の文化を未来に繋げていく。「エゴ（自分中心）からエコ（生態系を大切に）へ！」

講師 **小田原 健**

インテリア総合デザイナー artisan日本会長

2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標 SDGs」に掲げられている複数の目標達成に向け、新たな木材需要の創出が求められた。国内では2020年10月に「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言され、12月には「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」を策定、二酸化炭素吸収・固定の観点からも木材利用の拡大の必要性が指摘された。国産木材の需要拡大は、森林資源の循環利用を通じた二酸化炭素吸収及び固定機能の維持・向上、鉄やコンクリート、化石燃料の代替機能の使用削減に繋がり、地球温暖化防止に貢献するものである。私たち建築人が先頭を切って国産針葉樹を利活用することが求められている。

国産針葉樹活用
project21
on-line連続講座
by artisan日本

■主催団体
一般社団法人 artisan日本
一般社団法人 エコハウス研究会
■後援団体
一般社団法人 東京建築士会
NPO 法人 設計協同フォーラム
(多摩産材木材を活用するグリーン化事業グループ)

昭和09年 浜松に生まれる。
昭和29年 東京芝家具業界にて基礎技術を習得
昭和33年 吉村順三氏に師事し、設計協力
昭和43年 東京芸術大学建築学部講師。平成元年に至
昭和50年 木曾三岳木工所指導
平成03年 スウェーデン大使館家具事業部指導
平成06年 ジェトロ派遣指導員(フィリピン家具産業育成)
平成08年 スウェーデンパイン材の有効利用企画
平成10年 協)ウッドワーク上越杉間伐材有効利用指導
平成14年 長野県、森世紀プロジェクト発足、親方
平成15年 ジャイカ派遣指導員(タイ木材産業育成指導
風倒木を救おうと思い立ったのは1991年。それ以来日本の森林を救おうと、国産材の木材にこだわったインテリア・家具のデザインを手掛けている小田原健先生。
小田原先生は、日本の職人と木を活かし、日本の森林を守るというプロジェクトの先頭に立ち、確かな技術を持つ建具職人と協働し、優れた設計で家具から、リフォームまでを手がけてきまし